

伝統野菜による里山集落の活性化と 農産物の高付加価値化

—伝統文化の継承機能—

なかじま 中島地区

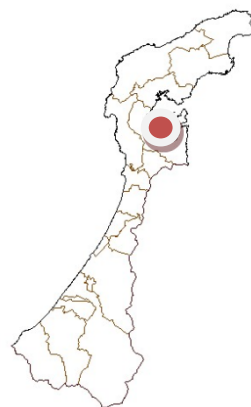


中島菜を栽培する
中島地区

能登の伝統野菜である「中島菜」は古くから七尾市中島地区を中心に栽培され、おひたしや漬物などとして食されてきた。

この中島菜には、高血圧予防に効果がある成分を含むことが分かり、近年、全国各地から注文や問合せが増加。

中島地区では、この伝統野菜の生産拡大を通じて地域の活性化の取組を行っている。



ななお
石川県七尾市



「中島菜」
能登野菜の認定野菜
(能登において優れた特
長・品質を持った野菜)

〔伝統文化の継承、医療・介護・福祉、地域社会の振興〕

「中島菜」は、石川県農業総合研究センター・石川県立大学の研究により、血圧を上昇させる「アンジオテンシンⅠ変換酵素」の活性を抑える成分が多く含まれることが判明し注目されている。

J A能登わかばでは、能登野菜に認定されている中島菜の栽培面積の拡大を図るため、平成 15 年に「中島菜部会」を結成。栽培講習会の開催により、技術力と品質の向上及び生産量の増加に努めている。また、収益性の向上のためペットボトル緑茶やプリンなどの加工品の開発を進めている。



トル緑茶「ま菜茶」



中島菜ぷりん



中島菜の収穫風景

《J A能登わかば（中島菜）》

<https://www.is-ja.jp/wakaba/product/nakajimana.html>